「時間がかかること」にこそ価値がある ~タイパの時代に育てたいカ~

主幹教諭 松本 雄企

最近、「タイパ(タイムパフォーマンス)」という言葉をよく耳にします。時間をできるだけ効率よく使うという考え方は、現代社会で重視されるものです。動画を倍速で見たり、飲食店やアミューズメント施設で「並ばずに利用できる」サービスを選んだりと、私たちの生活は便利でスピーディーになりました。けれども、全てを効率で片付けようとすると、見落としてしまう大切なことがあります。

例えば、算数の問題。答えだけを知るのは簡単ですが、自分で考え、試行錯誤しながら解き方を見つける過程にこそ、本当の学びがあります。「わからない」と向き合う時間、何度も挑戦してやっと理解できた瞬間、計画を立ててコツコツと取り組む経験――これらは一見「時間がかかる」ように見えますが、考える力、あきらめない心、問題を解決する力を育てます。この力は、子どもたちの一生の財産になります。

2学期には、運動会や作品展など、子どもたちが時間をかけて取り組む行事がありました。運動会では、声をかけ合いながら何度も練習を重ね、うまくいかない場面も仲間と励まし合って乗り越える姿が見られました。作品展では、下書きを直し、色を重ね、じっくりと自分の表現を形にしていく姿が輝いていました。どちらも「すぐにできること」ではなく、「時間をかけてできるようになったこと」です。その努力の過程こそが、子どもたちの成長を支えています。

また、日常生活の中にも「待つこと」から学べる場面がたくさんあります。給食時に配膳の順番を待つ、図書室で本を借りる順番を待つ、行事で自分の出番を待つ。こうした「待つ時間」は、すぐに手に入らないものへの期待をふくらませ、我慢する力や、周りを思いやる気持ちを育てます。全てが「すぐ」「簡単に」手に入る環境では、こうした力は育ちにくいものです。

いよいよ12月。2学期のまとめの時期を迎えます。子どもたちには、慌ただしい年末だからこそ、これまでの学習をじっくりと振り返り、時間をかけてまとめる経験をしてほしいと思います。短い時間でも、焦らず丁寧に取り組むことが、次への力になります。

ご家庭では、ぜひ次のような関わりを意識してみてください。

- ・宿題では、答えよりも「どう考えたか」を聞いてください。
- ・すぐに答えを教えず、一緒に考える時間を大切にしてください。
- ・失敗したときこそ「よく挑戦したね」と励ましてください。
- ・何かを続けている姿を、具体的に褒めてください。

効率的に「知識」を得ることはできても、じっくり向き合うことで得られる「知恵」や「心の成長」は、時間をかけなければ育ちません。急がず、焦らず、一歩ずつ。子どもたちが自分のペースで学び、成長していけるよう、これからも学校とご家庭で温かく見守っていきたいと思います。

たけのこ学級たけのこ学級担任

たけのこ学級の一番の目標は「自立」です。将来の自立に向けて、自分でできることを増やしています。例えば、全学年で宿泊学習に行くのも、「自分のことは自分でする」を体現するための一つですし、調理学習や上履き洗い学習もその一つです。また、意図的に縦割り編成をし「高学年が低学年に教える場面」も設定しています。係活動、当番活動、掃除など、多くの場面で縦割りのグループを組み、高学年が低学年に様々なことを教えます。単に知識や技能を教えるだけではなく、下級生への接し方なども見せることで、自分が上級生になった時にどうすればよいかということも学んでいきます。自立していくには、様々な人との関わり方を身に付けていくことも重要なスキルです。ということで、たけのこ学級 29 名、みんなが仲良して、良い雰囲気です。

運動会などの学校行事だけではなく、普段の授業などで通常級の友達と交流する場面も増えています。 ぜひ、高倉小の一員として、同じ地域に住む仲間として、たけのこ学級のことを理解してもらいたいと願 っています。

自分も含めて、みんなそれぞれ ~だから学校は楽しい!~ 特別支援教育コーディネーター

本校には、「特別支援<u>学級」と「特別支援教室」があります。「特別支援学級」はその学級に籍を置き、</u>その子に応じた学習を進めるところで、本校では「たけのこ学級」として親しまれています。「特別支援教室」とは、I組や2組といったいわゆる通常の学級に籍を置いたまま、週に I回2時間程度「特別支援教室」で学ぶところで、「さくら教室」と呼ばれています。どちらも児童一人一人に合った個別最適な学習を受けることができ、児童のペースでのびのびと成長しています。

本校では、これらの学級や教室を「特別」とはとらえていない児童が多いようで、嬉しく思います。たけのこ学級の児童と休み時間に一緒に遊んだり、交流学習で一緒に学んだりしていますし、さくら教室に通う児童に対しては「いってらっしゃ~い!」「おかえり」と声を掛けているところをよく目にします。同じ友達として、その子は「特別」なのではなく「その子自身」として捉え、違いを「良さの一つ」として見ている児童が多くいるようで、児童たちの純粋で正しいものを見つめることのできる瞳に、ハッとさせられます。

児童はみんな、自分も含めて一人一人違います。得意なことや苦手なことは児童によって様々ですが、違うからこそ「その子らしさ」が輝き、学校は面白いところになります。「違い=その子らしさ」と捉え、これからも優しいまなざしで互いに見つめ合えたら、より一層温かで面白い学校にすることができるのではないでしょうか。そんな優しいまなざしを、これからも育んでいきたいと、心から願っています。

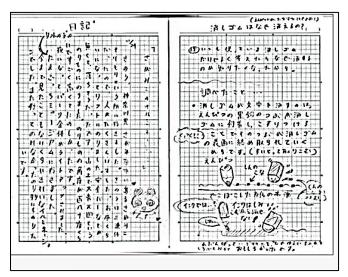


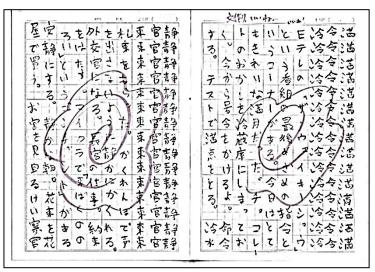
教務部

「家庭学習強化ウィーク」にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。期間中、実施 した学年の児童は意欲的に家庭学習に取り組み、自分の学びを振り返る良い機会となりました。

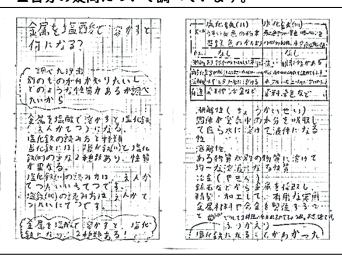
ご家庭での温かい励ましや声かけのおかげで、「自分で学習内容を決めて頑張った」「続けることの大切さが分かった」といった前向きな言葉が多く聞かれました。また、保護者の皆様からのコメントも、子供たちの励みになっていました。

本取組は、第一中学校の定期考査期間に合わせ、小中一貫教育の一環として実施したものです。(一部、期間をずらした学年もあります。)学年を越えて「計画的に学習に取り組む姿勢」を育てることを目的としています。今回の経験を通して、家庭での学びの習慣がさらに定着し、日々の学習や生活に生かされていくことを期待しています。今回、学年の実態に応じて取り組まなかった学年もありますが、実施した学年の取組内容を見て、今後も学校と家庭が連携し、子供たち一人一人が自ら学び、成長していけるよう努めてまいります。引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



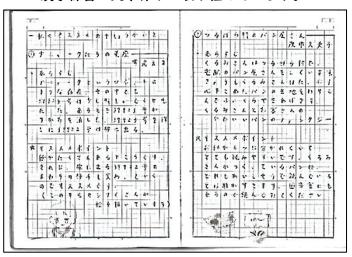


▲自分の疑問について調べています。



▲理科の学習にも取り組んでいます。

▲漢字練習と文章作りに取り組んでいます。



▲読書をした感想も書いています。

【生 活】使ったものはきちんと片付けよう 【安全指導】学校の規則を守り、安全に過ごそう 【保健指導】かぜを予防しよう 【清掃指導】大掃除の仕方を工夫しよう

2月の行事予定					授業時間					
日	曜	行事	掃除 あり	ı	2	3	4	5	6	
1	月	振替休業日								
2	火	朝学習 安全指導 5時間授業 作品搬出 作品展片付け(5年のみ6時間授業)	0	5	5	5	5	6	5	*
3	水	たてわり⑤ 委員会活動⑦5校時 ALT(5-1,4-1,3-1)		4	4	4	4	5	5	*
4	木	朝読書 たけのこ・5・6年保護者会	0	5	5	6	6	5	5	*
5	金	朝学習 I・2年保護者会 【3パ】	0	4	4	5	6	6	6	*
6	土									
7	日									
8	月	朝会 大掃除週間↓	0	5	5	5	5	5	5	*
9	火	朝学習 3・4年保護者会	0	5	5	5	5	6	6	*
10	水	朝学習 ハ王子市学力定着度調査 (4・5・6年) クラブ活動 85 校時		4	4	4	5	5	5	*
11	木	朝読書	0	5	5	6	6	6	6	*
12	金	朝学習 大掃除週間↑ 個別指導(4・5・6年) 【Ⅰパ】【2パ】【3パ】	0	4	4	5	5	5	5	*
13	土									
14	日									
15	月	朝会 5年自転車交通安全教室	0	5	5	5	5	5	5	*
16	火	朝学習 5時間授業	0	5	5	5	5	5	5	*
17	水	集会 クラブ活動⑨5校時		4	4	4	5	5	5	*
18	木	朝読書 5時間授業	0	5	5	5	5	5	5	*
19	金	朝学習 避難訓練(5年、たけのこ消火器体験) 【Iパ】【2パ】【3パ】	0	4	4	5	6	6	6	*
20	土									
21	日									
22	月	朝会	0	5	5	5	5	5	5	*
23	火	朝学習 さくら学級 終	0	5	5	5	6	6	6	*
24	水	集会 給食終		4	4	4	4	4	4	*
25	木	特時 N 終業式	0	4	4	4	4	4	4	
26	金	冬季休業日始								
27	土									
28	日									
29	月	学校閉鎖期間 2/29~ /3								
30	火									
31	水									

※たけのこ学級の下校時刻は別紙にてお知らせいたします。

※掃除なしの日は、下校時刻が I5 分早まります。